

マタイ

19

イスラエルを愛した 異邦人の示した信仰

マタイ福音書8章5～13節

メシアの奇跡②

百人隊長の信仰

アウトライン

0. イントロダクション

I. ローマの百人隊長

II. 百人隊長の僕の癒し 8:5～13

III. まとめと適用

人格と信仰の成長を求めて





0. イントロダクション

ローマの街道

【無垢の時代】

【良心の時代】

【人類統治の時代】

【約束の時代】

【律法の時代】

【恵みの時代】

【御国の時代】

天地創造

墮罪
~大洪水

バベルの塔事件

アブラハム
~ヤコブ

出エジプト
~王国時代
~メシア初臨

聖霊降臨
世界宣教
メシア再臨

千年王国
大審判
新天新地

①エデン契約

②アダム契約

③ノア契約

④アブラハム契約

⑤モーセ契約

⑥土地の契約

⑦ダビデ契約

⑧新しい契約

ディスペンセーション
8つの契約と
7つの時代区分

過去

現在

未来

メシアの生涯

宣教

→ 拒絶

→ 弟子訓練

→ 十字架へ

メシアによる
メシアの証明

宣教開始

弟子の召命

荒野の誘惑

バプテスマ

メシア的奇跡

安息日(律法解釈)論争

ベルゼブル論争

たとえ話

五千人の食事

ペトロの信仰告白

山上の変容

最後の弟子訓練

エルサレム入城

最後の晩餐



急拡大していったメシアによる宣教

■ マタイ福音書4:23～25

イエスはガリラヤ全域を巡って会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、民の中のあらゆる病、あらゆるわずらいを癒やされた。

イエスの評判はシリア全域に広まった。それで人々は様々な病や痛みに苦しむ人、悪霊につかれた人、てんかんの人、中風の人など病人たちをみな、みもとに連れて来た。イエスは彼らを癒やされた。

こうして大勢の群衆が、ガリラヤ、デカポリス、エルサレム、ユダヤ、およびヨルダンの川向こうから来て、イエスに従った。

5～7章 山上の説教の結論

■ マタイ7:28～29

イエスがこれらのことばを語り終えられると、群衆はその教えに驚いた。イエスが、彼らの律法学者たちのようにではなく、**権威ある者**として教えられたからである。」

■ **わたしは主**であると、イエスは**神の権威**をもって教えられた。

■ **教え**をもって、メシアの証明をなされたイエスは、**奇跡**をもって、メシアの証明をされていく。

➔ **最初のメシア的奇跡**が、「ツァラアトの癒やし」

ガリラヤ湖

■ カペナウムの町

- ・ **交通の要衝**…「マリス街道」
(ダマスコ～エルサレム)
- ・ **漁業が主要産業**
…ペテロ、ヨハネは網元
- ・ **ローマの百人隊も駐留**
(※領主ヘロデの百人隊?!)



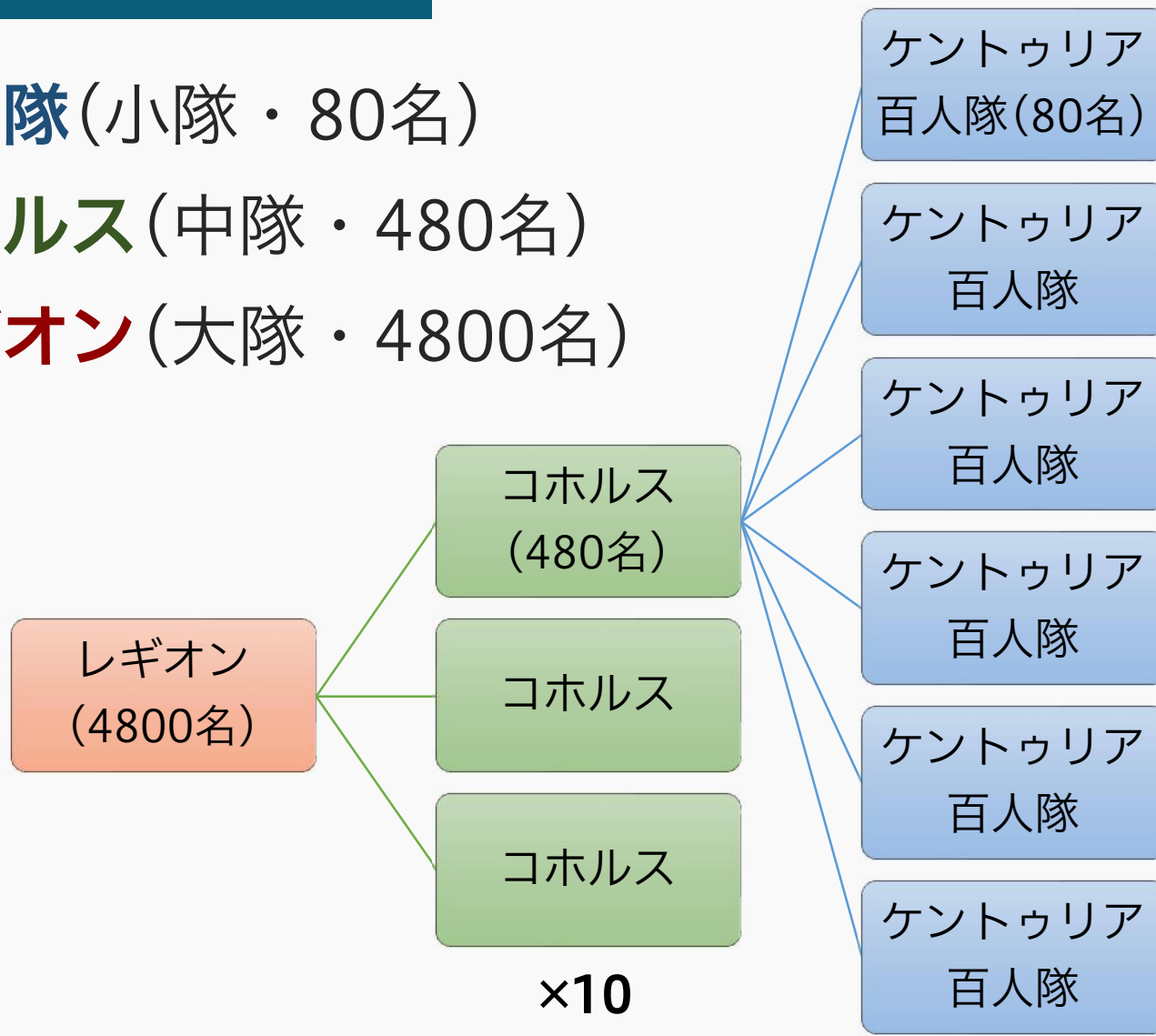


1. ローマの百人隊長

ローマの街道

ローマ軍の構成

- ①百人隊(小隊・80名)
- ②コホルス(中隊・480名)
- ③レギオン(大隊・4800名)



ローマ兵の任務

①戦時は、重武装で敵を制圧

→最強を誇った白兵戦



②平時は、治安維持と**道路網の整備**

「すべての道はローマに通ず」

…優れたインフラが、迅速な進軍と
経済的繁栄を!!



百人隊長とは？

- ① 職業軍人、戦いのスペシャリスト。
大隊長によって任命。
軍の最小部隊で前線の指揮を執った。
- ② 人格、人望が求められる、名誉ある職。
裕福な家の出身。教育水準も高かった。
軍功を上げ、多くの勲章を得た者も。

※ローマが帝政となり史上最強を誇った時代、
職業軍人が主流。装備一切は支給、十分な給与も。





II. 百人隊長の僕の癒やし

マタイ福音書 8 章5～13節

カペナウム

起 百人隊長の懇願 マタイ8:5～6

イエスがカペナウムに入られると、一人の百人隊長がみもとに来て*懇願し、「主よ、私のしもべが中風*のために家で寝込んでいます。ひどく苦しんでいます」と言った。

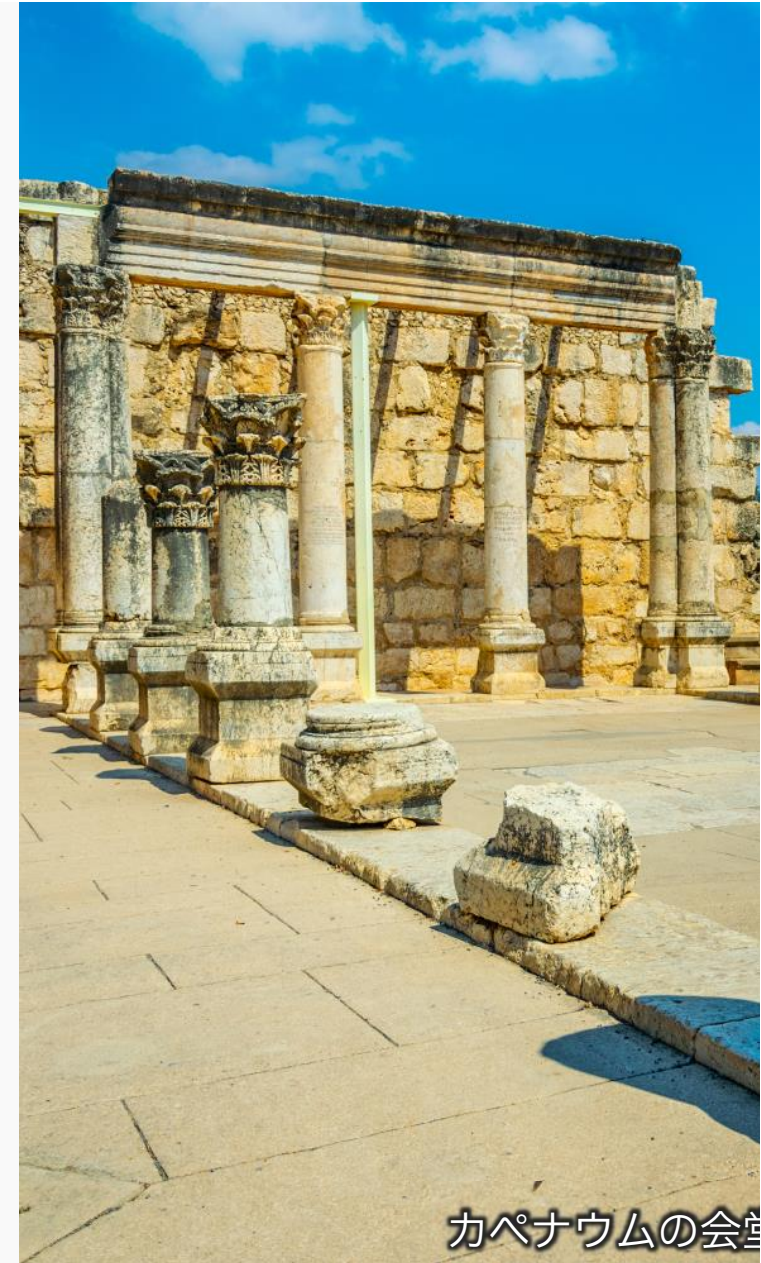
*脳血管障害の後遺症…半身不随、麻痺など

■ 僕のために懇願。憐れみ深い人格者。

■ ルカ7章では、ユダヤの長老たちを送った。

「ユダヤ人を愛し、自費で会堂を建てた」

*委任された代理も本人が来るのと同じ扱い。



カペナウムの会堂

承 イエスの返答 マタイ8:7

イエスは彼に「行って彼を治そう」と言われた。

■ メシア直々に、訪問を決められた!!

➡ 大変な名誉



転 百人隊長の返答 マタイ8:8

しかし、百人隊長は答えた*。「主よ、あなた様を私の屋根の下にお入れする資格*は、私にはありません。ただ、おことばを下さい*。そうすれば私のしもべは癒やされます。

*ルカ7章では、ここでも人(友人)を派遣。

*異邦人がメシアを迎える資格はないと…。

*百人隊長が唯一願ったこと。



転 権威の下にある者 マタイ8:9

と申しますのは、私も権威の下にある者だからです。私自身の下にも兵士たちがいて、その一人に『行け』と言えば行きますし、別の者に『来い』と言えば来ます。また、しもべに『これをしろ』と言えば、そのようにします。」

- 権威者の言葉(命令)は、その通りになる。
人間の軍隊ですら、上官の命令通りに。
➡メシアの命令なら、絶対そうなる。
(※異邦人が、小から大の議論を!!)



聖書が定める権威の原則

■ ローマ人への手紙13:1

人はみな、上に立つ**権威**に従うべきです。
神によらない**権威**はなく、存在している**権威**は
すべて、神によって立てられているからです。

普遍的な権威の原則を良く理解していた百人隊長

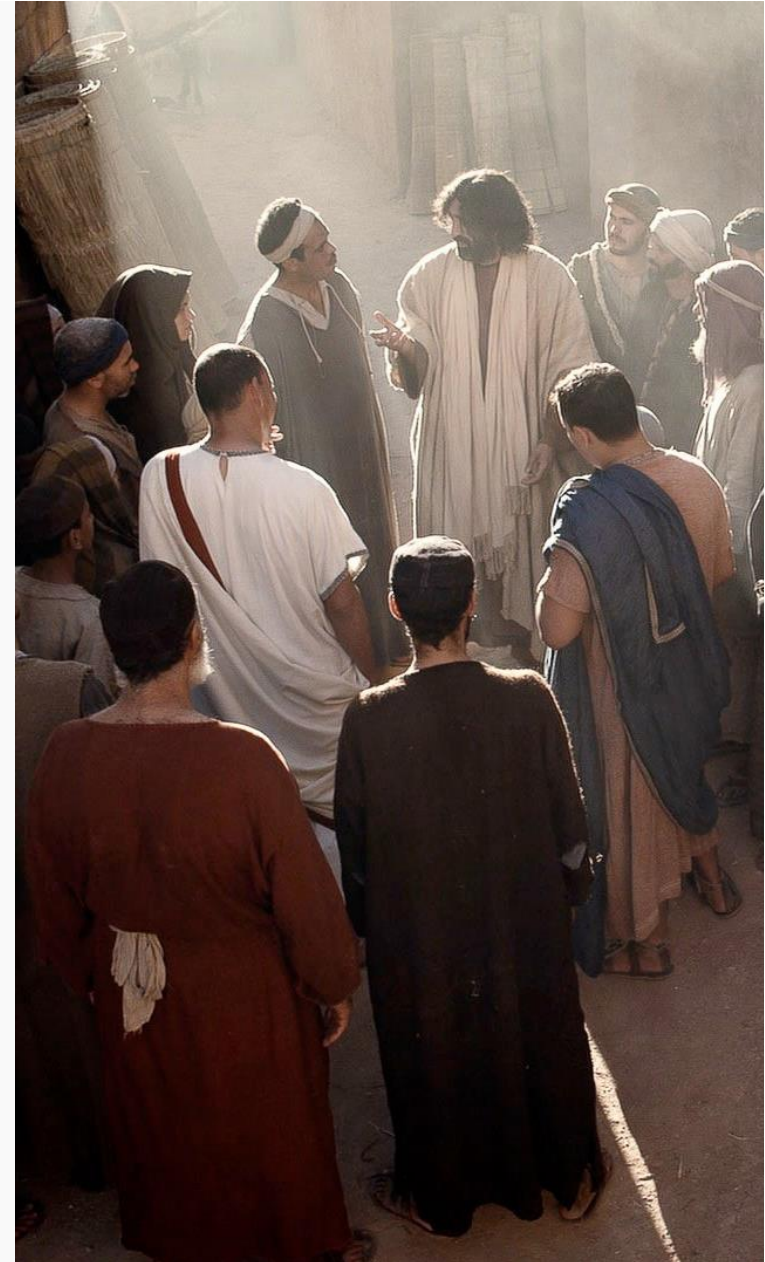
結

驚くイエス マタイ8:10

イエスはこれを聞いて驚き、ついて来た人たちに言われた。「まことに、あなたがたに言います。わたしはイスラエルのうちのだれにも、これほどの信仰を見たことはありません」

■ これ以上ない、賞賛の言葉。

異邦人の百人隊長が、神の民イスラエルの誰にも優る信仰を示した。



結

天の御国 マタイ8:11

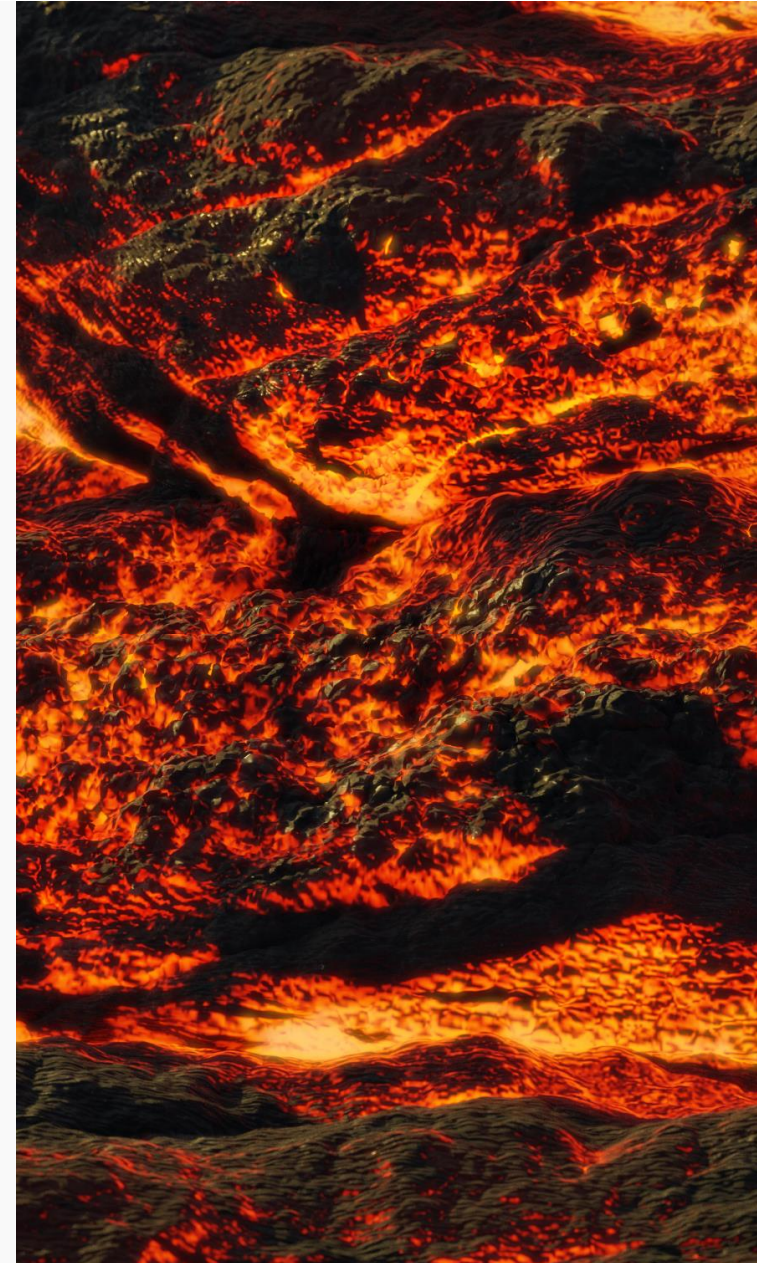
あなたがたに言いますが、多くの人が東からも西からも来て*、天の御国でアブラハム、イサク、ヤコブと一緒に食卓に着きます。

しかし、御国の子ら*は外の暗闇に放り出されます。そこで泣いて歯ぎしりする*のです」

*多くの異邦人が救われて神の王国に入る

*信仰のない、神の民イスラエル
(パリサイ人や律法学者、指導者たち)

*裁かれ、ゲヘナ、永遠の滅びに落とされる



結 しもべの癒やし マタイ8:13

それからイエスは百人隊長に言われた。
「行きなさい。あなたの信じたとおりになるように*。」すると、ちょうどそのとき*、そのしもべは癒やされた。

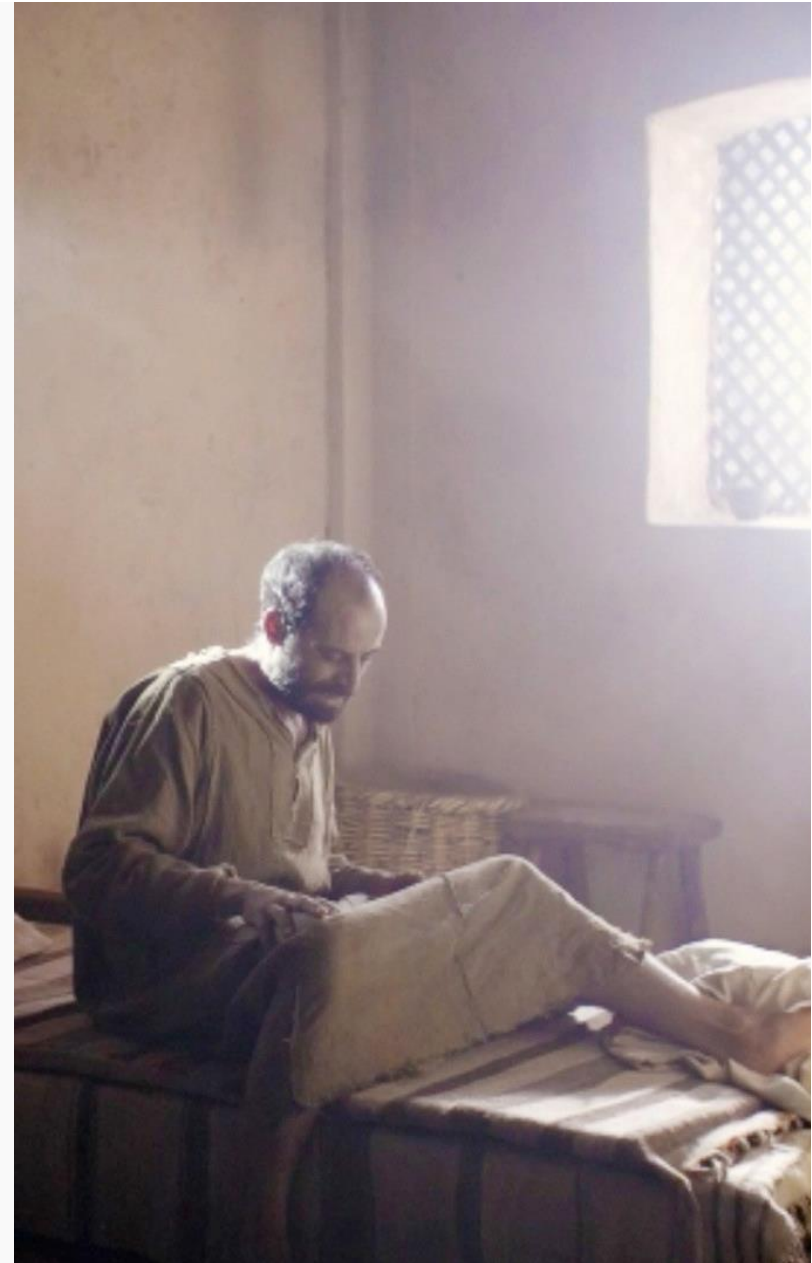
*この百人隊長に対してだけの呼びかけ

➔メシアが彼の信仰を認められた

*イエスが語られた同じ瞬間に

■メシアの言葉には、**神の権威**がある。

➔空間を超えた瞬間的な癒やしが証明





Ⅲ. まとめと適用

人格と信仰の成長を求めて

カペナウムの遺跡

神の信仰の兵士たち

- アブラハム …北方の侵略者を撃退、ロトを取り戻した
- ヨシュア …モーセに忠実に仕え、アマレクとの戦いに勝利。
戦いを先導して、イスラエルを約束の地に!!
- カレブ …あえて堅固な要塞のある敵地を所望。勝利。
- ダビデ …勇敢な羊飼。巨人ゴリアテを倒す。周辺国に勝利。
エルサレムを奪取。王国の基盤を築いた。

カペナウムの百人隊長の人格と信仰

■ **神への恐れ** …ユダヤ人を敬い、イスラエルの神を恐れていた。

“神を恐れる異邦人” 会堂建設のために支援。

■ **隣人愛** …しもべを愛し、癒やしを求めてメシアに懇願。

■ **神の前での謙遜** …家にメシアを招き入れる資格はない。

■ **権威への従順** …上官の命令同様に、神の権威に従った。

➔ **メシアの言葉(命令)だけで癒やされると確信!!**

聖書に登場する 3人の百人隊長

① カペナウムの百人隊長(マタイ8章)

「イスラエルにも見たことがない」 …信仰をメシアが賞賛

② ゴルゴダの百人隊長(マタイ27章)

「この方は本当に神の子であった」 …思わず告白

③ カイザリアの百人隊長(使徒10章)

聖霊降臨。異邦人への宣教の扉が開かれるきっかけに。

異邦人の信仰の戦士 ナアマン

■ **勇敢な戦士** …イスラエルと敵対していたアラムの将軍。

権威への従順 …王の信頼も篤かった。

■ **隣人愛** …ユダヤ人の下女や部下からの信頼の土台。

■ **謙遜** …ツアラアト罹患。ユダヤの下女の進言でイスラエルへ。
エリシャの命令に従い(部下の忠告も)、癒やされる。

■ **信仰** …アラムに帰還した後も、**イスラエルの神**を礼拝した。

信仰の兵士となるために

■ 権威への従順(おそれ)、隣人愛、謙遜

→ 信仰の土台となるもの

→ 信仰の**実**として現れるもの

■ 加えて異邦人に求められるのは、**イスラエルへの愛**

→ 愛とは、積極的に心にかけて、行動に示すこと

→ イスラエルの今を具体的に覚えて祈ろう

イスラエルの救いのために献げよう

ONE FOR ISRAEL からの 2024年末の手紙①

■ 今年も皆様のご厚意により、神は奇跡を起こしました。

50万人以上のイスラエル人が、私たちのヘブライ語の宣教チャンネルに登録しました。

イスラエルから80万人以上が、新約聖書を読んだり聞いたりできる私たちのヘブライ語伝道ウェブサイトを訪れました。

何千人ものメシアニックジューの兵士、高齢者、離散家族がケアとサポートを受けました。

しかし、これらの数字以上のものがあります。

ONE FOR ISRAEL からの 2024年末の手紙②

■ アヴィは、人生が変えられました。

無神論者の家庭で育ったアヴィは、信仰は自分には向いていないと思っていました。

しかしある日、彼はイエスについての答えをネットで探し、私たちのヘブライ語の動画を見つけました。

その瞬間、すべてが変わりました。

「あれ以来、私の信仰は強くなる一方です。神の御心のままに、ユダヤ人の魂を救うために犠牲になってくださったことに心から感謝します。」

ONE FOR ISRAEL からの 2024年末の手紙③

■ イシュア(イエス)の慰めと希望のメッセージを待っている人は、まだ数え切れないほどいます。

2025年は、より多くのイスラエル人に福音を伝えます。困っている兵士や家族に霊的・肉体的ケアを提供します。イスラエルと中東全域で主の教会を強化するために、新しい牧師や指導者(ユダヤ人とアラブ人)を養成します。

さらに多くの人々が、イエシュア(イエス)だけが与えることのできる希望を必要としています。より多くの人々の人生が永遠に変えられるよう、お献げください。

エレッツ・ソレフ博士

異邦人信者として イスラエルを覚え祈り、献げる理由

①主イエス・キリストは、**イスラエルに約束されたメシア**である。

➔イスラエルのメシアは、異邦人の私の罪のためにも、十字架で死なれ、葬られ、復活された。

②福音を信じて、私は、**イスラエルの約束の恵み**に接ぎ木された。

③イスラエルの民族的回心の後、メシアは再臨、神の王国を建設。

(※現イスラエル国家が終末に直結するかは、分からない)

歴史を支配される神は、**今もイスラエルを通して動かれている**

イスラエルと世の終わりの奥義

■ローマ人への手紙11:25～27

兄弟たち。あなたがたが自分を知恵のある者と考えないようにするために、この**奥義**を知らずにいてほしくはありません。イスラエル人の一部が頑なになったのは異邦人の満ちる時が来るまでであり、こうして、イスラエルはみな救われるのです。

「救い出す者がシオンから現れ、ヤコブから不敬虔を除き去る。これこそ、彼らと結ぶわたしの契約、すなわち、わたしが彼らの罪を取り除く時である」と書いてあるとおりです。

★ 人格と信仰の成長を求めて ★

■ 人格と信仰は堅く結びついている。あの百人隊長のような、権威への従順、隣人愛、謙遜を身につけよう。

■ そして、イスラエルを愛し、彼らの救いを祈り、献げよう。

■ かつてなく、世の終わりは近づいている。唯一の救いの道、主イエスの福音の愛を告げ、身をもって証ししていこう。
主の御言葉に信頼し、学びを深め、御霊の助けを受けていこう。

主イエスの弟子にふさわしく、育まれ、遣わされて行こう!!

てん とう
「天のお父さま。わたしは、あなたに背き、罪を重ねてきました。
ひび おか つみ こくはく つみ
日々犯してしまう罪をも告白します。この罪をゆるしてください。

かみ こ
わたしは、神のみ子イエス・キリストが、

① わたしの罪を贖うために十字架で死なれ、

はか ほうむ
② 墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん
③ 三日目に復活されたことを、信じます。

しゅ あい こ わたし くんれん せいちょう もと
主は、愛する子である私たちを訓練させ、成長を求められます。

けんい じゅうじゅん りんじんあい けんそん み
権威への従順、隣人愛、謙遜を身につけていくことができますように。

しゅ みことば した もと したが みたま わたし はぐ
主の御言葉を慕い求め、従います。御霊によって私を育ててください。

つ あゆ あか わたし つか
イスラエルのメシアを告げ知らせ、証しします。私を遣わしてください。

しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」